

国際ビジネス研究学会 第29回年次大会

開催日：2022年11月19日-20日（理事会は18日@博多）

開催校：九州大学（伊都キャンパス）

統一論題：「九州発 "内なる国際化" の再考」

九州はアジアの成長を取り込みながら、成長を目指すということが、常に言われています。

少子高齢化で国内市場が縮小していく中で、必ずしも海外に進出するだけでなく、インバウンド客の増加による消費拡大、外国企業の直接投資の誘致も含み、これからは日本政府が大きく舵を切った外国人の登用も増加するかと思えます。

しかしながら、日本人や日本企業の多くは、考え方自体が日本中心であり、このマインドセットを変えていく必要があります。2月にご逝去された吉原英樹先生が、30年以上も前から提唱された「内なる国際化」の考え方への変換が、今まさに求められていると考えます。

初日の19日（土）の基調講演として、このテーマに沿って、以下の方々に基調講演をお願いしております。

- ・株式会社麻生 麻生泰会長（前九州経済連合会会長）
「グローバル・シティズン」の考え方をご提唱
- ・国際教養大学 モンテ・カセム学長
（立命館アジア太平洋大学第2代学長）
- ・福岡インターナショナル・スクール 早崎栄一常務理事
（事業構想大学院大学特任教授）
- ・京都大学大学院経済学研究科 牧野成史先生
（前香港中文大学工商管理学系教授）

なお開催方式について、現時点では九州大学のキャンパスで開催すべく準備をしておりますが、今後のコロナ感染の動向によって、オンラインあるいはハイフレックス開催の可能性も検討いたします。

ぜひみなさまに、九州においでいただけることを楽しみにしております。

九州大学 経済学研究院

星野 裕志